

令和3年前期 現場後代検定選抜牛

み つ ひ さ し げ

光久茂

登録番号：黒15689

生産地：(独)家畜改良センター
鳥取牧場

生年月日：R1.8.16

個体識別番号：1389462434



(14.0ヶ月齢時)

一代祖	二代祖	三代祖
父 久茂福	父 安福久	父 安福165の9
母 さちみつひさ	母 ゆりふく	父 百合茂
	父 幸紀雄	父 百合茂
	母 みつひさ2	父 安福久

【血統分析結果】

始祖牛名号	茂金波	栄光	第6藤良	第38の1岩田	城清	奥城土井
遺伝子保有率(%)	11.7	8.0	1.9	0.0	0.2	0.0

(※特定の系統の始祖牛の遺伝子を保有する確率)

(一社)家畜改良事業団が実施した令和3年前期現場後代検定において、当場生産の種雄牛「光久茂」が選抜されました。

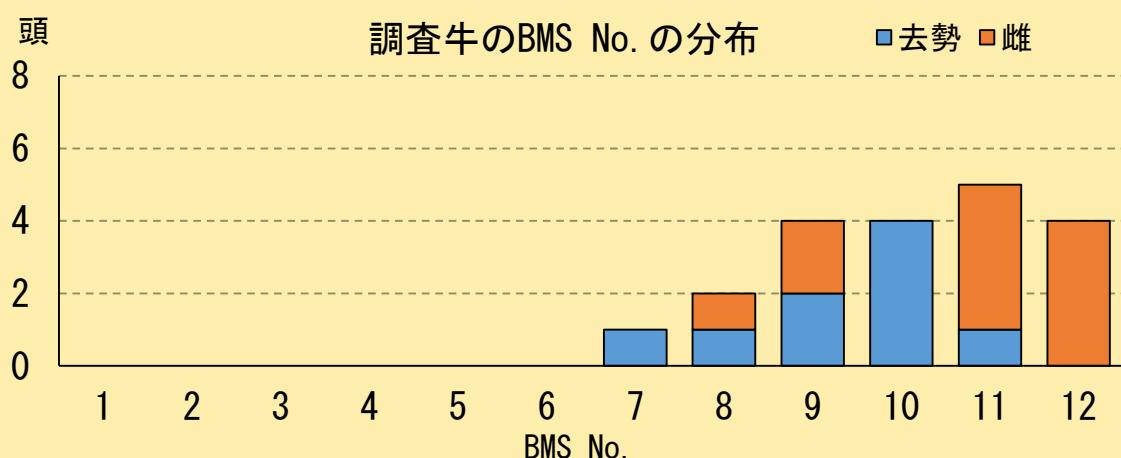
「光久茂」は、「光平照」や「菊知恵」(共に鳥取牧場産)等を輩出した兵庫県みつふく系の流れを汲む優秀な繁殖雌牛「さちみつひさ」と、肉質・肉量に関する能力に優れる島根県有牛「久茂福」との交配により作出しました。現場後代検定では、ロース芯面積74cm²、皮下脂肪厚2.1cm、歩留基準値76.7、BMS No. 10.1の優れた成績※を記録し、「久茂福」の初の息牛として選抜されました。同事業団が算出したゲノミック育種価では同事業団繫養牛のうちロース芯面積で15位、皮下脂肪厚で2位、歩留基準値で7位、BMS No. で11位と、父「久茂福」の能力をしっかりと継承しつつ、優れた産肉能力が期待されます。また、一価不飽和脂肪酸やオレイン酸に係るゲノミック育種価も良好であることから脂肪の質も期待される兵庫系種雄牛です。

※去勢と雌の平均。BMSは総平均、その他の形質は(去勢平均+雌平均)÷2。

【現場後代検定成績】

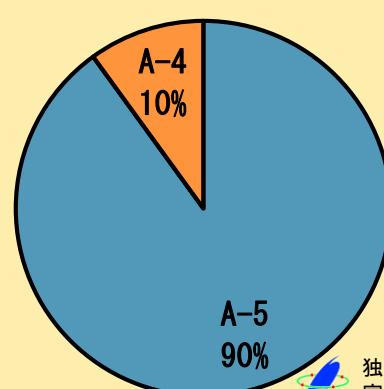
	頭数	月齢(ヶ月)	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値(%)	BMS(No.)
去勢	9	28.3	519	71	8.3	2.2	75.7	9.3
雌	11	29.9	454	77	8.3	2.0	77.6	10.7
平均	20	29.2	487	74	8.3	2.1	76.7	10.1

(一社)家畜改良事業団HPより引用



■去勢 ■雌

調査牛の等級割合(%)



令和3年前期 現場後代検定選抜牛

ゆきまつり

幸松梨

登録番号：黒15688

生産地：(独)家畜改良センター
鳥取牧場

生年月日：R1.9.6

個体識別番号：1397962643



(13.4カ月齢時)

一代祖	二代祖	三代祖
父 幸忠栄	父 茂勝栄	父 平茂勝
母 まつみやひさ	母 さゆり	父 金幸
母 まつみやひさ	父 安福久	父 安福165の9
	母 まつりえこ	父 福之国

【血統分析結果】

始祖牛 名号	茂金 波	栄光	第6 藤良	第38 の1 岩田	城清	奥城 土井
遺伝子 保有率 (%) ※	9.6	12.0	1.9	0.0	1.4	0.0

(※特定の系統の始祖牛の遺伝子を保有する確率)

(一社)家畜改良事業団が実施した令和3年前期現場後代検定において、当場生産の種雄牛「幸松梨」が選抜されました。

「幸松梨」は、「福久増」(鳥取牧場産)を生産した優秀な繁殖雌牛「まつみやひさ」と、肉量に優れる気高系種雄牛「幸忠栄」(十勝牧場産)との交配により作出しました。現場後代検定では、ロース芯面積77cm²、皮下脂肪厚2.0cm、歩留基準値77.4、BMS No. 10.6の優れた成績※を記録し、特に雌牛におけるBMS No.の平均は11.4と同事業団の現場後代検定において歴代最高値を示しました。同事業団が算出したゲノミック育種価では同事業団繫養牛のうちロース芯面積で7位、皮下脂肪厚で4位、歩留基準値で1位、BMS No.で9位と、父「幸忠栄」を超える能力を示し、今後の活躍が期待される気高系種雄牛です。

※去勢と雌の平均。BMSは総平均、その他の形質は(去勢平均+雌平均)÷2。

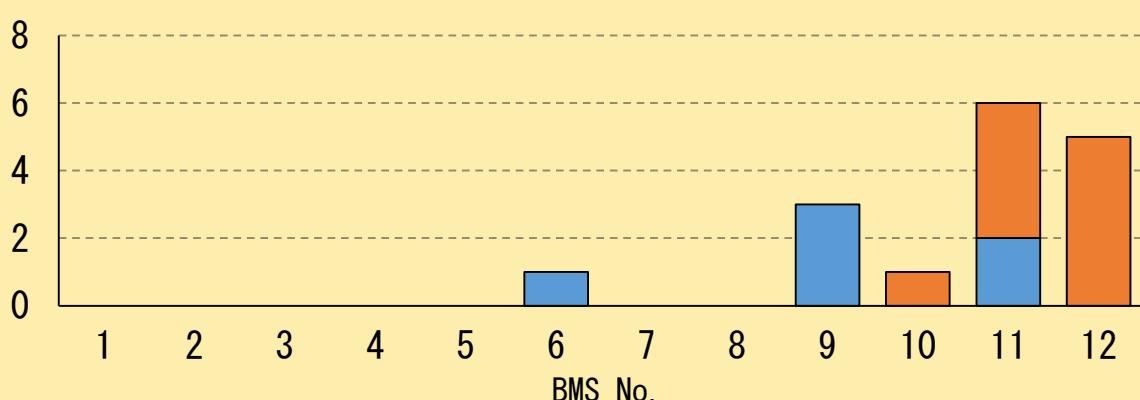
【現場後代検定成績】

	頭数	月齢 (カ月)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値 (%)	BMS (No.)
去勢	6	27.5	511	75	9.0	2.1	76.9	9.2
雌	10	29.8	428	79	7.8	1.8	77.9	11.4
平均	16	28.9	470	77	8.4	2.0	77.4	10.6

(一社)家畜改良事業団HPより引用

調査牛のBMS No.の分布

■去勢 ■雌



調査牛の格付割合 (%)

